

Hello, from
Around the World

ALT通信

白河で活躍するALT（外国語指導助手）を紹介！



デワイルド・サシャ先生
(オーストラリア 南オーストラリア州)

☎本庁舎学校教育課 内2365

音楽とカフェが好きです！

みなさんはじめまして！私は昨年7月に、オーストラリアのアデレード市から来ました。教会が多く、ヨーロッパの街並みに似ています。近くにはバロッサ・バレーという有名なワイン産地があります。夏は気温が45℃になる時もありますが、おいしい野菜やミルク、チーズが自慢です。

私の趣味は音楽です。ギターやシンセサイザーを演奏したり、ストリートダンスを踊ったりします。またハイキングも好きで、秋には五色沼へ行ってきました。

白河は「だるま市」などイベントがいっぱいで、とても楽しいです。週末はドライブしながら市内のカフェ巡りをしています。

おすすめのお店があったらぜひ教えてください。

皆さんどうぞよろしく申し上げます。(次回に続く)



▲五色沼でのハイキング

英語で一言！

Don't be afraid to try something new!

(遠慮なく、新しいことをやってみよう！)

シリーズで学ぶ

白河歴史人物伝

研究で浮かび上がる様々な謎

Vol.13

白河(結城) 義親
(1541~1626)

《従来の義親像》

義親は、中世に白河を治めた白河結城氏最後の当主として知られます。当主の家に生まれますが分家小峰氏を継ぎ、後に本家の幼い当主を後見する中で、天正3年(1575)に反乱を起こし(天正の変)、当主となったと伝わります。しかし近年、これと異なる事実が明らかとなっております。

《未知の人物「隆綱」》

義親の名は21歳の永禄4年(1561)に初めて史料に現れますが、近年、それ以前に活動する「隆綱」という、系図にもない当主がいたことが初めて分かりました。

隆綱は、義親と同一人物説と別人説があります。同一人物ならば義親は正当な当主、別人ならば隆綱と実権を争った可能性があり、今後解明が必要な点です。

そして「天正の変」についても、義親が反乱を起こしたのではなく、起こされた側であることが分かってきました。

《「天正の変」の実際》

現在の研究では、当時当主の座にあった義親に対し、弟や一族が反乱を起こしたと考えられています。この結果、混乱に乗じた常陸(茨城県)の佐竹氏に、領地の多くを奪われ、力を弱めることとなりました。

《最後の当主として》

義親は、勢力を拡大する佐竹氏や伊達氏の間で生き残りを図りますが、天正18年(1590)に豊臣秀吉に改易されて白河の領主としての結城氏の歴史は終わりました。その後義親は伊達氏に仕え、寛永3年に86歳で亡くなっています。



上図・白河義親証状(天正17年(1589)に高田氏に於て、佐竹氏から領地を取り返した際に、佐竹氏から領地を認め、白河市歴史民俗資料館寄託)。(個人蔵、白河市)

下図・太刀銘「一(号牛切丸)義親が那須神社(栃木県大田原市)に奉納したと伝わる太刀です。一(号牛切丸)の別名があります(那須神社蔵、大田原市那須与一伝承館寄託)。

文化財課 ☎272310